

# 吉永地区 生涯学習推進会

人口：7,423人 世帯数：3,026世帯（平成31年1月1日現在）



## スローガン

吉永地区一人ひとりの人生が豊かになるよう、創意ある文化体育活動を推進しよう  
安全でだれもが参加できる文化の里づくりに積極的な生涯学習活動を推進しよう



会長 高橋 正文

## 沿革

吉永地区生涯学習推進会は、昭和43年に社会教育推進協議会が発足したのに伴い、吉永地区社会教育推進会として設立されました。その後平成5年の富士市の生涯学習推進会連合会への名称変更により、現在の吉永地区生涯学習推進会と改名しました。

平成26年度よりスタートした吉永地区まちづくり協議会の中心団体として平和で安全、健康なまちづくりをすすめるため活発に活動しています。

## 吉永のみどころ

吉永地区は、明治6年6月に生駒藤之先生により創立され、まもなく創立150周年を迎える富士市立吉永第一小学校をはじめとし、昭和幼稚園、比奈保育園、吉原東中学校、吉原第三中学校、富士市立高等学校、静岡県立吉原工業高等学校、昭和自動車学校といった、2園6校を抱える一大文教地区です。そのため、各園・各校にて行われる行事には、幼児から高齢者まで幅広い世代間の交流行事が盛んに行われています。なかでも地区の一大イベントであります「ひめなの里まつり」においては、幼児、かぐや姫、町内会長など老若男女のパレードが繰り広げられ大変見ごたえがあります。お祭り好きの地域性が医王寺の初薬師様祭典、富士岡地藏尊のいちよう地蔵祭典、長学寺での手紙祭、玉泉寺では桜まつりと夏祭り、中比奈天神社の梅まつり、秋には各神社でのお日待ち祭典などお祭りには事欠きません。このほか地域の特徴として様々な場所で湧水を見ることができ、この遊水地を利用した公園や、仁藤春耕道しるべを始めとして様々な石碑旧跡を巡る散策路など楽しめます。



▲ひめなの里まつり 姫の入城

## 生涯学習の活動

吉永地区生涯学習推進会の主な活動としては吉永夏祭り、吉永地区体育祭、吉永地区文化祭があげられます。この三大行事を地区の皆様にも楽しんでもらうために、吉永地区生涯学習推進会では担当部だけでなく、生学全体で行事の準備運営に当たります。行事担当部がその行事の主軸となり、他の部は運営の補佐や安全面に目を光らせます。

親子教室「ワイワイ子育てサロン」も今年で23年目となります。0歳児を持つ若い夫婦の為の育児支援事業ですが、今では他地区からの参加者もあるほどの盛況ぶりです。このように各部共、三大行事だけでなく地区の皆様にも楽しんで頂けるもの、または安全に楽しく暮らせるようにと検討しています。

まちづくり協議会との関わりとしては、毎月行われるまちづくり協議会の司会進行役を務めています。またまちづくり協議会祭典委員会を中心として行われ今年28回目となるひめなの里まつりではその運営の中心となり、舞台作成や運営、放送、場内巡視、交通整理等、代表として頑張っています。このほかにも吉永地区ふれあいコンサート実行委員会の中心として準備運営等行っています。ふれあいコンサートは今年で23回目となります。



▲吉永ふれあいコンサート 地元の有志のコラスグループ

## 育成部

40周年以降青少年の育成のみでなく、地域や家庭、親子関係を含めて育成していきたいと、育成部と名称を変更しました。活動もパトロールや研修会活動から、子ども大人が直接参加する体験型活動に変更しました。毎年吉永一小全校児童・東中三中の全校生徒・地域住民から健全育成標語を広く募集し、文化祭で表彰しています。また親子でお弁当を作ることで、食育と健全な親子関係を築くサポートをしながら地域の育成関係役員との交流を深めるための会食「お～弁当」も実施しています。これからも啓発と参加型の活動を継続していきます。



▲お～弁当 弁当作成中

## 社会部

社会部としては、年4回ある交通安全期間中の街頭指導への参加を中心に、毎年11月に開催される吉永ふれあいコンサートの事務局と交通指導、ひめなの里まつりでの交通指導、生学行事の吉永夏祭り、吉永地区体育祭、吉永地区文化祭の交通指導を担当しています。また、2月に通学路を中心に交通安全啓発シール添付事業（とまれマーク）を展開し、交通安全の意識の向上に努めています。



▲止まれマーク 添付事業

## 体育部

体育部としては、メイン行事の地区体育祭に加え年二回の球技大会を開催しています。体育祭では毎年何か目新しさをと、一種目は新しくしようと努力しています。

スポーツを通して人と人の絆が深まる様に企画運営をしています。また、地区行事等に積極的に参加し、舞台作成など行っています。



▲体育祭 こども綱引き

## 文化部

文化部は7月下旬に行われる地区夏祭りのステージ運営、秋の地区文化祭の主催運営、年度末の地区写真展の主催運営、その他地区行事のポスター作り、音響担当などの協力を行っています。写真展は、最近の携帯電話、スマホ、デジタルカメラ、携帯ゲーム機器などの普及により撮影する機会が増えていながら、撮り溜めて日の目を見ない「お宝写真」が埋もれているのではないかと、という観点から、地域住民に呼びかけ、死蔵された写真を発掘するよう心がけています。また、これまで発表する機会がなかった人たちにむけて、できる限り敷居を下げるよう、主催者がデータを預かって、大判用紙にプリントする事で、より多くの方に参加して頂けるよう心がけています。文化祭はコスプレ参加、プラモ展示など、新しい企画を立ち上げ、より間口の広い行事を行うよう心がけています。



▲文化祭 十二単 お披露目